

# 艇跡

2005年11月号

発行:名古屋工業大学漕艇部

編集:神原 あい・内出 真以



◎中部学生新人選手権◎

男子舵手付フォア

男子ダブルスカル

優勝♪

4位入賞♪

◎名工大・名大新人対抗戦◎

男子エイト

準優勝！！

◎新艇ダブルスカル進水式◎

◎幹部交代◎

◎新入生紹介◎

◎今後の予定◎

# ☆中部学生新人戦☆

昨シーズンの締めであるインカレが終わり 1 週間たったこの日、我ら期待の星である 1、2 年生の晴の舞台が開かれました。

1 年生は先輩クルーが戸田での合宿の間も庄内川に残り練習を続けてきました。また 2 年生は昨年の初試合から 1 年が経ち、この 1 年間の成長振りを発揮できる場となりました。

1 年生だけの艇もあり、緊張の中お互い力を合わせ精一杯漕ぎきりました。

日程 : 2005 年 10 月 15 日(土)～16 日(日)

場所 : 愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場 1000m

出漕クルー : 男子ダブルスカル A(S:荻原 有騎 B:和田 悠希)

男子ダブルスカル B(S:新海 雄也 B:古川 資生)

男子舵手付フォア(C:神谷 恭平 S:土岐 良太 3:平 雄二

2:阿葉家 淳 B:小池 亮介)

## \*男子ダブルスカル\*

<予選A組>2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	愛知工業大学	1'53"35	3'47"13
2	三重大学B	1'57"13	3'59"33
3	南山大学A	2'02"42	4'00"30
4	名古屋工業大学A	1'58"71	4'02"21

<予選B組>2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	静岡大学	1'51"45	3'44"58
2	三重大学A	1'53"11	3'51"21
3	名古屋工業大学B	1'53"48	3'55"06
4	南山大学B	2'04"20	4'19"66

<敗復>2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学B	1'05"01	3'51"25
2	南山大学A	1'54"69	3'56"75
3	名古屋工業大学A	2'01"25	4'08"92
棄権			南山大学B

<決勝>

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学B		
2	三重大学A		
3	静岡大学		
4	愛知工業大学		
5	三重大学B		
6	南山大学A		

予選ではスタートで少し曲がってしまったものの、良いスタートがきれた。しかし蛇行が続いてしまい、スパートも出し切れず悔いの残る試合内容になってしまった。

敗復は波が高く、まっすぐ進もうと気を使いすぎてしまい、兩人ともに思い通りの漕ぎができず、練習が活かしきれない結果となってしまった。(A:荻原)

スタートから艇の方向が曲がり6位スタートとなるが、300mあたりで落ち着きを取り戻し、500mで4位につける。しかし、その間に上位3クルーと差をつけられてしまう。ラストスパート時にも追いつかず、結局上位との差を埋められないままゴールとなった。(B:古川…決勝)

**\*男子舵手付フォア\***

〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学		
2	浜松医科大学 澁		
3	浜松医科大学 瀛		
4	南山大学		



## クルーの言葉

### 荻原 有騎 (1年)

今回僕達は、一ヵ月という非常に短い時間でダブルの調整を行わなければいけませんでした。

両手で漕ぐというのが初めてということも重なり、最初の数日はこの先どうなるのだろうとばかり考えていました。というのも練習したてのころはバランスも息もバラバラで全くうまくいかなかったからです。でもコーチの方々の熱心な指導の御蔭もあり、どうにか試合に出られるまでになりました。

試合の結果はいまひとつでしたが、この負けたことでの悔しさとこれまでの御指導を元に、これからも練習を頑張っていきたいと思います。

### 和田 悠希 (1年)

ダブルでの初めての大会でしたが、前の大会と違って一年生だけで乗ったせいか必要以上に気負いしてしまい、焦って何度もミスをしてしまいました。

直前の練習ではそれなりに手応えを感じていたので悔しかったです。

練習での漕ぎが本番でもしっかりと出せるように、強い精神力を身につけたいです。

### 古川 資生 (1年)

中部学生新人選手権は自分にとって二度目のボートの試合でしたが、ダブルスカルは漕ぎ始めて一ヶ月にも満たない練習で試合に挑むこととなり大変緊張しました。試合では今までになく焦り、ばたつきが目立ちました。また、レース後は緊張からかすさまじい疲労感がありました。次の試合までには体力をつけてもう少し落ち着いて漕ぎたいと思います。

### 新海 雄也 (1年)

今回の試合の最低目標は決勝に残るということだった。

しかし、試合が近づくにつれ、もっと上という気持ちが強くなった。それが原因でもあるかもしれないが、試合では焦ってしまい、力んでしまった。この経験を糧にこれからの練習を通して心技体共に成長し、もっと勝利する喜びを味わいたい。

### 小池 亮介 (1年)

インカレ後に1週間という短い期間の中組んだクルーで調整不十分だった。しかし、先輩方クルー全員の気合いが不安を吹き飛ばし、一本限りのレースながらそれまでで一番の漕ぎができた。

最高に爽快な気分だった。この勝ちを次につなげていきたい。

## ☆名古屋工業大学・名古屋大学新人対校戦☆

今年は例年より遅い対校新人戦となりました。外の景色も冬の装いとなり、とても風の強い中試合が行われました。昨年は部員不足の表れでフォアでの出漕でしたが今年はエイトを組むことができました。

結果は以下の通りです。

日程 : 2005年11月19日(土)

場所 : 名古屋市中川区大蟻螂町 庄内川

出漕クルー : 男子エイト

C:神谷恭平	S:平 雄二	7:土岐良太
6:小池亮介	5:古川資生	4:新海雄也
3:荻原有騎	2:和田悠希	B:阿葉家淳

### ☆男子エイト☆

着順	クルー	タイム
1	名古屋大学	7'15"69
2	名古屋工業大学	7'50"53

スタートから少し出られ、中盤追い詰めた  
が、追いつけずそのまま差を縮められず離さ  
れていく形となりそのままゴール。



## クルーの言葉

### 平 雄二 (2年)

来シーズンに向けてこの冬の目標は体重を 5kg 増やし、パワーを付けることです。

春には新歓活動委員長として新生を 10 人入れるために工夫をし、頑張ります。そして来シーズンこそ名大戦で勝つために 1 乗艇 1 乗艇ごとの練習を大切に練習していきます。

### 土岐 良太 (2年)

練習の時から自分の漕ぎにばかり気をとられ、一年生を引っ張っていく事が十分にできず、その結果、相手との力の差がはっきりと現れた試合になってしまった。この冬は名大戦で後輩を引っ張っていただけるだけの技術、自信を持てるようにことん自分を追い込んでいきたい。

### 阿葉家 淳 (2年)

今回は一年生が多かったとはいえ、ひどい結果となってしまった。もっと上級生がうまく一年生を引っ張ってこられたなら違う結果になっていたと思う。

これからの練習で自分と共に下級生を鍛えて来年につなげる。





◎◎応援に来て下さった方々(敬省略)◎◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	E	川村信之
H10	I	石黒新治	H10	Zk	鈴木秀忠	H15	Ue	櫻井潤
H16	F	塚本浩輔	H16	M	中川秀幸	H16	M	中島明
H17	Z	羽生田真英	H17	Z	西雪健次朗	H17	M	小島隼人

◎ 白艇会費・寄付金を下さった方(敬省略)◎

卒業年度	学科	御名前
S48	W	衣斐洋一

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

## ☆ダブルスカル進水式☆

50周年記念事業といたしまして白艇会よりダブルスカルを購入していただきました。また、学校からもリガー部購入における協力をいただき全日本大学選手権にて活躍いたしました。

この新艇の名前は部員で考え、「いきいきと・快活に」という意味から「VIVACE」と名づけられました。

当日は学校側からも副学長を初め3名の方々にお越しいただき、にぎやかな式となりました。



S48 W 衣斐洋一(副会長)  
S57 E 竹下隆晴(部長)

S53 M 佐野武雄(監督)

## ◎幹部交代のお知らせ◎

今年のインカレは世界選手権の影響により10月と遅くなりました。インカレで引退された4年生の先輩方を横目に9月より新しいシーズンのスタートをきり、インカレ終了と共に幹部が交代しました。

今シーズン部の中心となる幹部をご報告致します。

主将：石川 敦正 (3年 機械工学科)

副将：平 雄二 (2年 機械工学科)

主務：光岡 貴俊 (3年 社会開発工学科)

副務：土岐 良太 (2年 生命物質工学科)

会計：阿葉家 淳 (2年 機械工学科)

外務：内出 真以 (2年 生命物質工学科)

チーフマネージャ：神原 あい (3年 機械工学科)

今年の3年生は漕手1名、マネージャー2名と少ない陣容ではありますが、マネージャー2人も漕手であった時期があり、また艇に掲げる思いは一緒だと思っております。現在、部員が少ない中、ほとんどが幹部ではありますが、部員全員で力を合わせ頑張っております。今まで、様々な先輩、OBの方々に支えられ、励まされてきた選手たちですが、偉大なる先輩方を追い抜こうと、一生懸命に練習している後輩たちを引っ張っていく立場となりました。

試合の応援に遠方より駆けつけて下さったりと、さまざまな面で支援してくださっているOBの皆様方には大変感謝しております。試合における皆様方のご声援、艇庫に送られてくる激励のメールはクルーの気を奮い立たせ、艇をより速く進める力となります。まだ幹部が交代したばかりで、未熟者が多いのですが、今まで以上に期待をして見守って下さい。皆様方の温かい眼差しは自信になり、次への躍進へとつながります。

そして、試合に出漕するにあたってのエントリー・運搬・移動、艇・艇部品の充実、艇庫での生活面の向上など、部を運営していく上で私たちはどうしても皆様方のご支援が必要です。

今後とも部員一同、精一杯がんばっていきますので温かいご支援、ご声援宜しく願いいたします。



## 新入生の意気込み

新人戦が終わり、これから冬のシーズン・陸トレに入る中、これからの意気込みを語ってもらいました。

<b>漕手</b>	環境材料工学科	小池 亮介	高校の部活:ボート
	「ボートって楽しい」という気持ちを忘れずに練習に励みたい。		
	機械工学科	古川 資生	高校の部活:サッカー
	漕手としてレベルアップできるよう日々の練習に集中していきたい。		
	環境材料工学科	新海 雄也	高校の部活:陸上
	一勝一勝を大切に、少しでも高みを目指して頑張っていきたい。		
	環境材料工学科	荻原 有騎	高校の部活:卓球
	冬での陸トレで基礎体力をしっかりとつけ、水中でのちからを伸ばし、身体的にも精神的にも強くなりたい。		
	電気工学科	和田 悠希	高校の部活:帰宅
	毎日毎日、少しでも進歩できるようにがんばる。		

中部学生新人戦、名古屋工業大学・名古屋大学対校新人戦と試合を通して強くなりました。これから冬のシーズンとなり体力づくりに励みより強くなる漕手たちを楽しみにして下さい。



## ☆今後のお知らせ☆

---

### 忘年会

日程 : 2005年12月29日(木) 18時から  
場所 : 愛知県名古屋市 萩の茶屋

50周年総会、ダブルスカル新艇購入など今年1年さまざまな行事が行われました。今年1年の疲れを癒すべく、また来年の英気を養うべく忘年会を行います。来年に向けてまた、皆様の漕手時代の思い出などさまざまなことを語り合いたいです。ぜひお越しください。お待ちしております。

### 初漕ぎ会

日程 : 2006年1月8日(日) 11時から  
場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川艇庫

今年も年度始めに我がボート部の勝利を祈って初漕ぎ会を行います。久しぶりに漕いでみたい方、ぜひ漕ぎに来てください。艇庫では自慢のマネージャーが作ったおいしいおしるこを用意して待っております。

### 名大・名工大戦

日程 : 3月下旬～4月上旬  
場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川  
出漕クルー : 男子エイト

昨年、4連覇ならず3年ぶりに敗退してしまいました。今年はその悔しさをバネに練習に力をいれてまいります。

ご都合がよろしければ、ぜひ応援にお越しください。  
詳しくはメーリングリスト、電話等でご連絡いたします。

なお、忘年会、初漕ぎ会につきましては、出欠はがきを同封いたしましたので出欠の旨をお書きの上、艇庫までお送りください。なお、住所変更された方はそちらもご記入の上、お知らせ下さい。